

# Bg-MAX<sup>®</sup>

ビージー・マックス

Vi-Cor<sup>®</sup> 社の開発した Bg-MAX<sup>®</sup> は、幅広い範囲で高い吸着能をもったカビ毒吸着剤です。

## Bg-MAX<sup>®</sup> のユニークな成分

### 酵母細胞壁破砕物

#### -グルカン

1・3、1・6 - グルカンを高品質な状態で含んでいます。

#### マンナンオリゴ(MOS)

マイコトキシンをこれらの構造の中に取りこみます。

### イーストカルチャー

#### 酵母とその培養物

酵母の発酵により生成された高品質な栄養素や酵素を含みます。

### HSCAS: アルミノケイ酸ナトリウムカルシウム塩

表面積の広いシリカはマイコトキシンの吸着に有効です。

熱処理および化学的な特殊加工を行っております。

## マイコトキシン(カビ毒)の吸着能力

製品	AFB1 (アフラトキシン) 200ppb	T-2 (T-2 トキシン) 300ppb	OA (オケラトキシン) 200ppb	DON (デオキシニバルノール) 2000ppb	FB1 (フモニシン) 2000ppb	ZON (ゼアラレノン) 1200ppb
<b>Bg-MAX<sup>®</sup></b>	<b>85.1</b>	<b>73.2</b>	<b>89.5</b>	<b>82.0</b>	<b>74.0</b>	<b>89.0</b>
有機結合剤	88.5	70.0	62.0	70.4	72.8	81.3
HCAS(シリカ)	89.5	58.5	51.0	33.6	68.3	61.5
酵母細胞壁製品	81.7	62.3	65.0	68.5	69.4	75.3

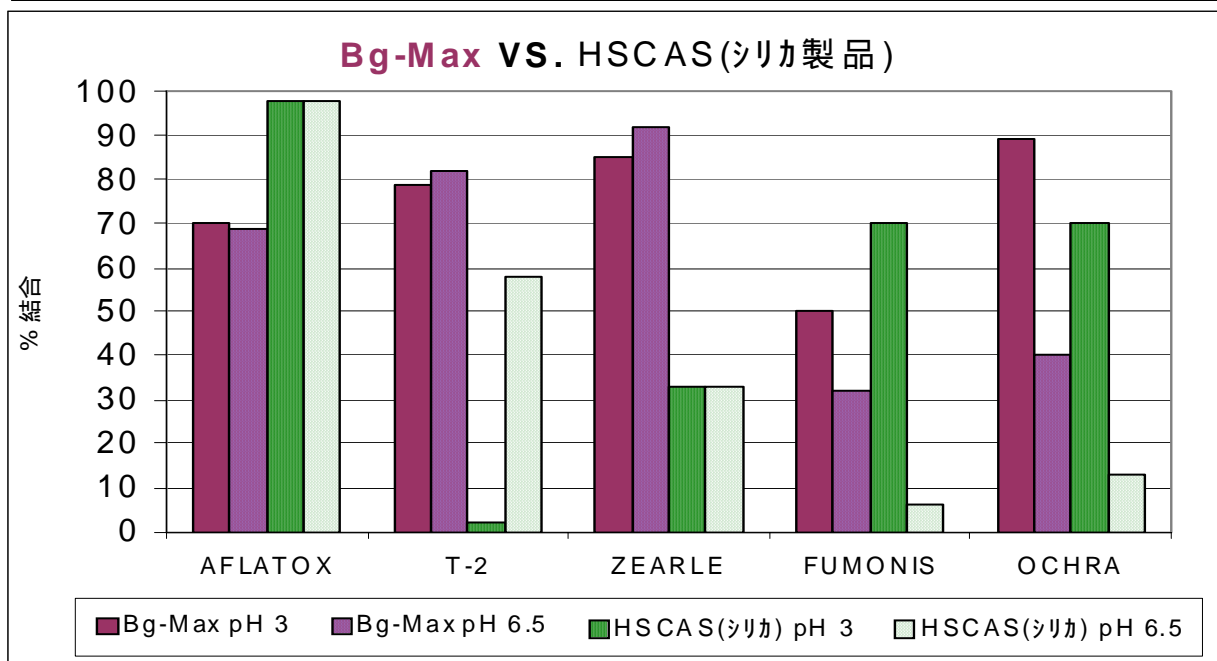
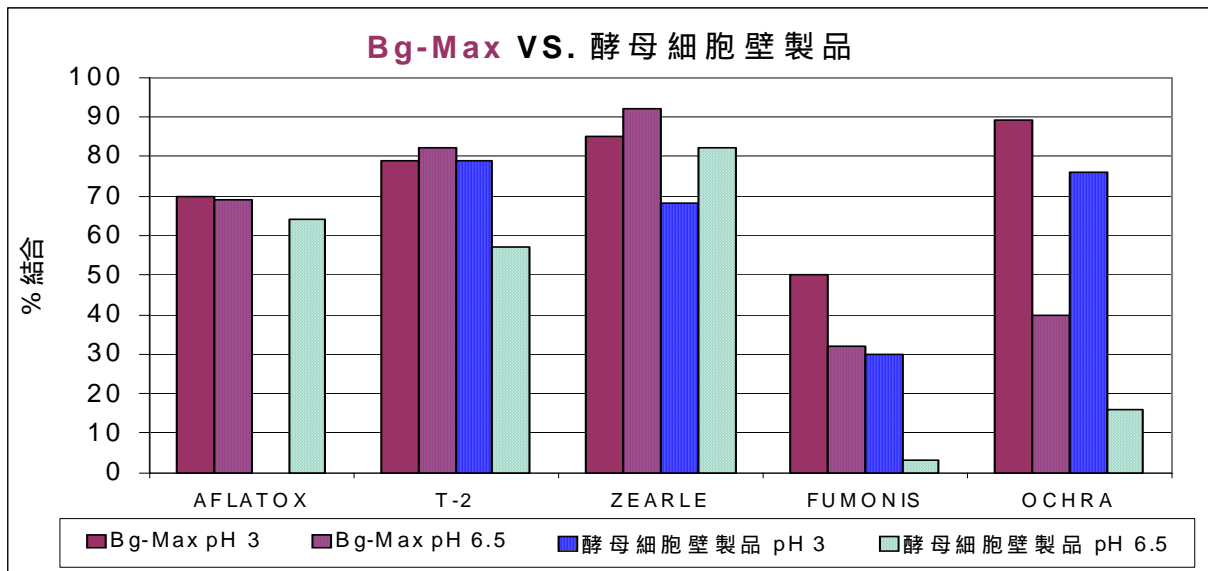
マイコトキシン(カビ毒)の吸着剤の広い範囲における研究において、この分野の専門家である Dr.Rene Neftah Marquez によるメキシコ INIFAP 研究センターのマイコトキシン部門における In Vitro のカビ毒の吸着能力の測定試験(2006年8月)

Bg-MAX と現在販売されている主要ブランドとの評価比較。

試験は全て、飼料に対して 2.5kg/トンの配合割合とした。

総合吸着率(吸着能力) = 合計吸着率 - 脱着率

## 様々なpH環境におけるカビ毒吸着について



**給与量:** 乳牛・肥育牛 10g~20g/頭 (飼料に対して1kg~2kg/トン)  
 養鶏 飼料に対して 1~2kg/トンの割合で混合し給与する。  
 養豚 育成 飼料に対して 1~2kg/トンの割合で混合し給与する。  
 肥育 飼料に対して 0.5~1kg/トンの割合で混合し給与する。  
 カビの発生状況に合わせて添加量を調整してください。

飼料の名称: Bg-MAX (ピージー・マックス)

飼料の種類: ビール酵母吸着混合飼料

飼料の区分: A飼料

原材料名: ビール酵母、パン酵母培養液、コーンジャームミール、ゼオライト(HACAS)

NET: 25kg 紙袋入り(紙袋3層、ビニール袋1層)

製造元: Varied Industries Corporation(アメリカ)

輸入業者: ウイスコ株式会社 東京都小金井市貫井北町 3-17-32

販売業者: **オバナヤ・セメントックス株式会社**

愛知県名古屋市瑞穂区石田町 1 丁目 48 番地 TEL.052-851-9361